教育いたみ

第54号

令和６年度
基本方針本文は
こちらから

令和６年度 教育基本方針（要約）

はじめに

一、今の時代

現在は、異常気象やＡＩの急速な進展などに象徴されるように、先行き不透明な予測困難な時代です。これからの時代を生きる子どもたちは、このような「人類の存続」にかかわる難問や、社会の急激な変化などに柔軟に対応していかなくてはなりません。

二、重点的な取組

①「主体性、問いを立てる力、コミュニケーション能力」の育成

ＡＩがさらに私たちの身の回りに広がる社会においては、既存の問いに正解を出すことより、新たな問いを立てることが大事です。しかし本市の子どもたちは、主体的に学べない、問いを立てる力が弱い、対話的な学びが深まらないといった課題が明らかになっています。

学校においては、自分にとって必要な学びを自分の力で進めていくことのできる資質を育むために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進します。家庭においては、「計画的に学習に取り組む習慣づくり」に取り組みます。

②「教育ＤＸ」の推進

生成ＡＩが社会を変えようとしています。ＡＩの進化はめざましいものがあり、昨日の常識は今日の非常識になる時代です。このような時代に対応していくためには、ＩＣＴを有効に活用できる力が不可欠です。

このようなことを視野に、令和5年度に策定した『伊丹市教育ＤＸ推進指針』に則り、幼児教育においては、登降園管理や午睡チェック、保護者連絡などを一元化した「次期保育システム」の運用を図っていきます。学校教育においては、シングルサインオンを可能とする「学習ｅポータル」の整備や、すべての子どもにとって読書が身近なものとなるよう電子書籍の導入を図っていきます。

③「子どもの最善の利益」を視野に入れた教育の推進

近年、社会の変化などにより、全国的に子どもの虐待やうつ症状、不登校、自殺などが増えています。国の宝である子どもたちが、将来にわたって豊かで幸せな人生を送るためには、子どもを一人の人格を持った人間として尊重し、伸び伸びと自己実現を図ることができる「居場所」が不可欠です。また、子どもの意見を子どもに関する施策に反映していく必要があります。

学校においては、教育活動中はもとより、放課後や長期休業中においても、「子どもの居場所」づくりに取り組みます。

子どもの意見反映については、「こども基本法」に則り、子どもの自発的かつ主体的な成長を支援する視点に立ち、学校行事や不登校・いじめへの対応、校則の見直し等に活かしていきます。

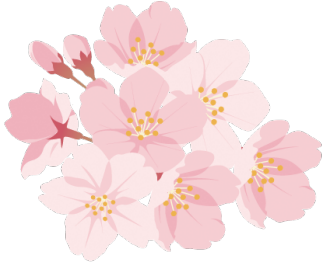
結びに

子どもたちを幸せにしたい。この「願い」が教育委員会の究極の目標です。幸福であることは最大の価値です。

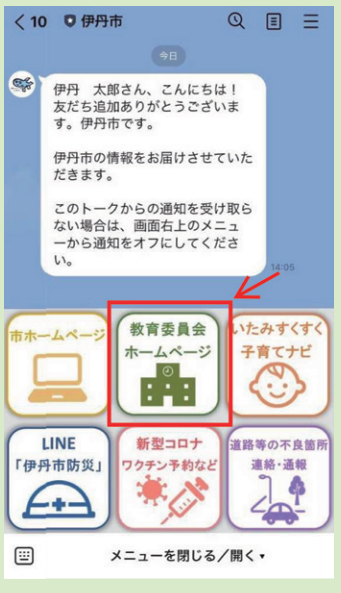
私たちの日常は、「今日はどのような料理を作ろうか」、「明日はどんな服を着ようか」など自己決定の連続です。自分らしく生き抜くためには、自己決定、すなわち、主体性と自己肯定感が不可欠です。様々な教育活動を通じて、将来、幸せな人生を送ることができるよう「自己決定」のできる児童生徒を育てていきます。

目まぐるしく変化する時代にあって、いつの世も変わらない教育の本質を見失うことなく、教育は「国家100年の大計」であることを心に置き、「不易と流行」を踏まえ、本市の教育を推進していきます。

伊丹市教育長　木下　誠



教育の広報について
（お知らせ）



○教育情報誌「すくすくぐんぐん伊丹っ子」（7月・12月）、教育広報紙「教育いたみ」（3月）は市のホームページにも掲載しています。

教育施策や教育情報を発信しておりますので、ぜひお読みください！

伊丹市公式LINE

伊丹市の公式LINEからも教育委員会のホームページにアクセスできますので、ぜひ登録を！

令和6年度の教育施策について

子どもの幸せの実現を目指し、教育施策の充実を図ります。

学力向上を図るため、児童が教科の勉強が好きになることを目指し、小学校に**授業アドバイザーを派遣**します。また、増加する不登校に対応するため、複数の課が協働した多角的な視点をもつ**チームによる不登校対策**を図ります。

「子どもの学びの充実」と「教職員等の働き方改革」を柱とした**教育ＤＸを推進**します。第１弾として、**学習ｅポータル**や**子ども電子図書館**の導入、デジタル採点システムの試行運用等を実施します。

子育て世帯の負担軽減のため、**中学校給食の無償化**を実施し、小学校給食は**食材費物価上昇分を公費負担**します。

近年の猛暑を踏まえ、子どもの熱中症予防対策のために、また避難所環境の向上を目的とし、2ヵ年で市立小・中・高等学校全26校の**体育館空調の整備**を進めます。

itami　発行・伊丹市教育委員会事務局　〒664-8503　伊丹市千僧１丁目１番地　☎072-784-8081　「教育いたみ」は再生紙を使用しています

第7回 伊丹市学校給食献立コンクールを実施

市教育員会は昨年度に引き続き、子どもの学校給食に対する意識を高める取り組みとして、市内小・中学生を対象に「学校給食献立コンクール」を実施しました。

栄養バランスを考え、地元産食材を盛り込むなど、創意工夫した給食献立が多数応募されました。

応募総数は1952点で、審査の結果、小学校の部13作品、中学校の部15作品の計28作品が入賞作品に選ばれました。

小学校の部では池尻小学校6年の野邉心彩さん、中学校の部では北中学校2年の齋藤圭佑さんの献立が最優秀作品に選ばれ、令和6年2月の学校給食でそれぞれ実際に提供されました。

子どもたちは、最優秀作品の献立を一口一口味わって食べていました。

今後も学校給食を活用し、食育の充実を図ってまいります。

小学校

●さつまいもの豆乳カレースープ

池尻小学校　野邉　心彩さん

中学校

●ごはん
●ちゃんぽん風スープ
●ひとくちチキンカツ
●大学芋

北中学校　齋藤　圭佑さん

はぐくみ

二宮教育委員の提言

学校運営協議会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に基づき、本市は、市立小中特高すべての学校に設置しています。学校の運営及び運営への必要な支援に関して協議する機関で、地域住民、保護者、子どもたちの学びや成長を支える活動を行う地域学校協働活動推進員などが主なメンバーです。

会議自体は、おおよそ1年間に4～5回開催されています。毎回、まず学校の様子や取組を、写真などを多用しながら学校長がわかりやすく報告されます。その後、学校の抱える課題、不登校や、全国学力・学習状況調査結果などについて各委員が質問し、議論します。また、年度の終わりには、当初学校長が掲げ委員が承認した教育目標についての学校評価の議論をします。また年間を通して学校行事や校内の参観なども行われます。

学校の課題などを話し合う中から、ボランティアが子どもの九九暗唱を聞き定着を図る九九道場や、地域探検での見守りや地域の歴史語り、家庭科実習での補助、子ども主体の遠足などの活動も生まれています。一方で、学校と委員の間での情報共有に関する認識の差や、教職員と委員との連携などの課題も挙げられています。

学校の様子や課題、子どもの育ちに、運営委員はもとより、地域に暮らす多くの人が関心を寄せていただければと思います。「学びに向かう力」や、「社会の中で生きていく力」を育んでいくには、子どもにできるだけ多くの人がかかわっていくことがいいと思っています。Society5.0の到来など、時代は劇的に変化しようとしています。そのような中で、子どもが実感を持って多面的に世界をみることができるよう、いろいろな大人がちょっとずつ気持ちや知恵を出し合って、さまざまに体験を共有していければと思います。みんなそれぞれに忙しい。それでも、未来を担う子どもが健やかに育っていくのと一緒に、子どもの周りにいる大人たちのコミュニティも豊かになっていくといいなと思っています。

～子どもたちの学びを豊かにする～

『土曜学習』&『学校支援ボランティア』ボランティアを募集中！

『土曜学習』

伊丹市では土曜日の子どもたちの豊かな教育環境の実現をめざし、市内全小・中学校（25校）で『土曜学習』を年10回程度実施しています。『土曜学習』の特徴は、さまざまなプログラムを通して「学校の授業では体験できない経験」や「地域住民や高校生、大学生、企業の方など、幅広い人との交流」ができることです。『土曜学習』では、地域・学校・企業などの多様な人材の協力を得て子どもたちの学びを支えています。

『学校支援ボランティア』

地域住民が学校の要望に応じて子どもたちの学校生活を支える活動です。具体的には学校図書館の整備や読み聞かせ、花壇の整備・管理、樹木剪定、学校掲示板の飾り、授業の補助等でボランティア活動をしています。

子どもたちが気持ちよくのびのびと過ごせるように環境整備を行っています。

ボランティア募集中！

～あなたの力を子どもたちのために～

『土曜学習』や『学校支援ボランティア』で活動してくださるボランティアを随時募集しています。子どもたちの笑顔に触れる機会です。ぜひ気軽にお問い合わせください。

＜問い合わせ先＞
社会教育課
☎072-764-7814

土曜学習

学校支援ボランティア

毎月第3日曜日は「家庭の日」だんらんホリデーです♪

子どもと一緒に過ごしたり、家族団らんの機会を進んでつくったりするなど、市民みんなで家庭や家族について改めて考える日です。市内施設の無料開放を実施しているほか、多数の協賛店に割引などのサービスを提供いただいておりますので、ぜひご家族でご利用ください。詳しくは、伊丹市ホームページ・だんらんホリデーのチラシ（毎月発行）をご覧ください。

だんらんホリデーをきっかけに、毎日の家族団らんへと繋げてみませんか。

早寝 早起き 朝ごはん

子どもの健やかな成長には、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠をはじめとした規則正しい生活習慣が大切です。子どもたちの健やかな成長を願い、改めて「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さについて考えてみませんか。

令和5年度伊丹市教育委員会賞、伊丹市優秀教職員表彰、伊丹市児童・生徒顕彰　受賞者決定

伊丹市教育委員会賞

教育・文化・スポーツの振興に功績のあった方々に贈られる「伊丹市教育委員会賞」の受賞者が決まりました。（順不同・敬称略）

●教育委員会賞（団体）

▽市立桜台小学校　ジュニアバンドクラブ▽市立北中学校　女子卓球部▽市立松崎中学校　吹奏楽部リコーダーアンサンブルチーム▽市立伊丹高等学校　なぎなた部▽市立伊丹高等学校　吹奏楽部▽稲野エンジェルス（野球）▽昆陽里タイガース（野球）▽北摂ガールズ（サッカー）▽（公財）修武館A（なぎなた）

●教育委員会賞（個人）

▽井関　琥太郎（伊丹小・ボクシング）▽沖　壮太郎（伊丹小・野球）▽山﨑　陽菜（稲野小・バトントワーリング）▽峰元　悠志（南小・けん玉）▽加藤　正永（神津小・相撲）▽竹谷　綾（緑丘小・なぎなた）▽金﨑諒真（有岡小・将棋）▽山野　遥加（有岡小・ローラースポーツ）▽加藤　理奈（鈴原小・なぎなた）▽岸田　謙三（荻野小・レスリング）▽杉本　悠真（荻野小・珠算）▽千田　湊介（荻野小・なぎなた）▽中川　心愛（池尻小・テニス）▽千田　芽依（東中・なぎなた）▽千田　芽依・竹谷　紗奈（東中・なぎなた）組▽青野　らん（西中・バトントワーリング）▽長谷　沙紀（西中・水泳）▽中村　樹月（南中・陸上）▽早川　紬稀（北中・バレエ）▽榎本　忠広（松崎中・サッカー）▽立花　舞乃（松崎中・テニス）▽藤川　乃愛（松崎中・水泳）▽藤川　凌向（松崎中・水球）▽松村　怜音（松崎中・バレーボール）▽山田　心太朗（松崎中・相撲）▽坂田　千花彩（笹原中・なぎなた）▽高橋　央太郎（笹原中・テニス）▽阿比留　月乃（市立伊丹高・なぎなた）▽阿比留　月乃・高田　愛稀（市立伊丹高・なぎなた）組▽石井　心・高田　愛稀（市立伊丹高・なぎなた）組▽高田　愛稀（市立伊丹高・なぎなた）▽町羽　煌太（市立伊丹高・ナレッジイノベーションアワード）▽坂上　祐輝（県立伊丹高・なぎなた）▽荒井　祭里（飛込）▽伊藤　千飛（ボクシング）▽上山　紘輝（陸上）▽大久保　勝（卓球）▽加藤　作子（水泳）▽酒井　美幸（なぎなた）▽中畑　友里（フラッグフットボール）▽中村　祐紀（陸上）▽永山　銀次郎（ボクシング）▽西森　沙恵（柔道）▽深河　正（パワーリフティング）

伊丹市優秀教職員表彰

学校園（所）教育活動において教職員の模範となる取組を行い、優れた成果をあげた教職員を対象に表彰しました。（順不同・敬称略）

山田　洋一（池尻小・学習指導）
横山　和伸（鴻池小・学習指導）
寺井　浩治（南中・学習指導）

伊丹市児童・生徒顕彰

各種検定・技能資格等の取得において他の模範となる優れた成果を収めた市立学校に在籍する児童・生徒を対象に顕彰しました。（検定により顕彰の基準は異なります。）

英語検定：準1級＝1名、2級＝12名、準2級＝97名、3級＝24名
漢字検定：2級＝4名、準2級＝30名、3級＝7名
数学検定：準2級＝1名、5級＝2名
珠算・暗算検定：有段者＝8名、1級＝15名
簿記実務検定：1級＝20名
珠算・電卓実務検定：1級＝1名
（令和6年3月13日現在　延べ209名）

スポーツクラブ21交流　第1回モルック大会を開催！

モルックとは、木の棒を投げ、1～12の番号が書かれたスキットルという棒を倒して得点を積み重ね、相手より先に50点を目指すスポーツです。

筋力や運動神経をあまり必要とせず、老若男女問わず誰でもできるスポーツとして近年注目されています。

伊丹市では、令和5年11月に初めての大会を昆陽池公園の多目的グラウンドで開催しました。白熱した試合が多く非常に盛り上がった大会となりました。

スポーツ振興課ではモルックを含めた様々なニュースポーツ用具の貸出しを行っております。スポーツを始めるきっかけづくりにぜひご活用ください。

モルック大会の様子

ことば蔵

伊丹市立図書館

☎072-783-2775（図書事業）
☎072-784-8170（交流事業）

●第6回　伊丹でみつける・さぐる・かんがえる　図書館を使った調べる学習コンクール開催！

知りたい事や解決したい事を図書館などで調べた作品を募集するコンクールを開催しました。夏休みには、調べ方やまとめ方を学べる講座や、実験と調べる学習を組み合わせた「エジソンこうざ」「ガリレオこうざ」を近隣の施設と連携して開催し、多くの方に調べる楽しさを体験してもらいました。コンクールには15作品の応募があり、10月にはことば蔵で表彰を行いました。全国コンクールへ推薦した1作品は、佳作となりました。

入賞した作品は市内の図書館で展示
（令和5年12月7日ことば蔵にて撮影）

表彰式の様子
（令和5年10月29日ことば蔵にて撮影）

●土曜日は図書館のおはなし会へ！

図書館本館では、毎週土曜日の午後3時から5歳～小学生を対象としたおはなし会を開催しています。小学生で読み聞かせはちょっと子供っぽいのでは？と思うかもしれませんが、少し長めの絵本や、絵本を使わずに語り部がおはなしをする“ストーリーテリング”など、じっくりおはなしを楽しめる年代ならではの醍醐味があります。自分の為に、誰かが心を込めて語り掛けてくれる時間は心地良いものです。保護者や兄弟同伴も歓迎ですのでぜひご参加ください。

令和5年6月5日　図書館本館　伊丹市民ゴルフ大会寄贈

●児童書を寄贈いただきました！

国際ソロプチミスト伊丹から10万円分、伊丹市民ゴルフ大会から14万円分の図書を寄贈いただきました。

人気の本や新しいシリーズの本を中心に、赤ちゃん絵本からジュニア向け図書まで幅広い児童書をいただいており、これまで国際ソロプチミスト伊丹からは1,437冊（平成6年度～）、伊丹市民ゴルフ大会からは159冊（令和4年度～）と、継続してご支援いただいております。これらの本は、子どもの読書推進に役立ててまいります。

令和5年11月14日
図書館本館　伊丹市民ゴルフ大会寄贈

令和5年6月15日
図書館本館　国際ソロプチミスト伊丹寄贈

●こども作戦会議2023「ことばザー」決行！

ことば蔵では昨年6月から、小学生を対象にことば蔵でやってみたいことを自ら企画し実現するイベント「こども作戦会議2023」を全7回開催しました。

4年ぶりの実施となる今回は、様々なコーナーで楽しい体験ができる、バザー企画に決定！「ことばザー」と題し、12月23日にイベント本番を迎えました。「ことばザー」では、しおりやブックカバーを作れるワークショップ、射的などのゲームコーナー、本や文房具が買えるキッズバザー、プレゼント交換など楽しい体験が盛りだくさん。このイベントでのみ使用できるオリジナル通貨「ぐら」を用いて、どなたでも無料で楽しむことができました。（参加者84名）

「こども作戦会議2023」のメンバーたちは6月に初めて集まり、半年の間やりたいことの発表から本番に向けての練習や準備、チラシ作りまで自らが主体となって進めてきました。もちろん、各コーナーの店主も自分たち。仲間と協力してイベントを大成功に導きました。

（令和5年12月23日ことば蔵にて撮影）

あいさつから始まる1日

伊丹市人権教育指導員
伊丹市立有岡小学校長　森本一登

有岡小学校の1日は、「おはようございます」の言葉で始まります。毎朝、５年生・６年生の児童会の子どもたちが、交代で元気よく「おはようございます」と登校する児童に声をかけています。手には、子どもたちが考えたキャッチフレーズ『あかるい　あいさつ　しっかりと』と書いた紙を持ち、それを登校する児童に見せながらあいさつしています。ねらいは、あいさつする自分たちの元気な姿を低学年の子どもたちに見せて、「こんなお兄さん、お姉さんになりたい」と思ってもらい、これからの有岡小学校を支えてくれる後輩を育てることです。子どもたちのこうした活動が自主性を育み、これからの時代に適応する資質を身につけていくと考えます。

学校現場では、児童の基本的人権に十分配慮し、一人一人を大切にした教育を行う必要があります。「児童の権利に関する条約」や「こどもまんなか社会」の実現を目指して、令和４年６月に公布された「こども基本法」など、基本理念や趣旨等を教育に携わる我々も理解を深めなければなりません。教員には、子どもたちが予測困難な社会の変化に対して主体的に関わり、これからの時代を生き抜くための惜しみない支援をすることが求められているのです。

❶柿衞文庫コレクション 絵入り俳書の魅力

絵とともに句を楽しむ“絵入り俳書”の歴史は、明暦2(1656)年(江戸時代前期)に刊行された北村季吟の俳諧句集『いなご』に始まります。本展では、柿衞文庫が所蔵する絵入り俳書を展覧し、その歴史と魅力に迫ります。

『わか菜』(公益財団法人柿衞文庫蔵)

❷junaida展「IMAGINARIUM」

『Michi』『の』『怪物園』(すべて福音館書店)など、近年出版した絵本がいずれも話題の画家、junaida(ジュナイダ、1978-)。ヨーロッパを思わせる謎めいた世界に、細密に描きこまれた人物や背景。鮮やかな色彩の中に、明るさと闇が共存する不思議な世界観が大きな注目を集めています。

「IMAGINARIUM」は、たゆまぬ冒険を続けるjunaida 初の大規模個展の巡回展です。赤や金に彩られた異世界に、絵本原画や一枚絵として描かれた400 点超の作品が陳列されます。本展のために描き下ろした作品にも出会いながら、空想世界の全貌をお楽しみください。

「IMAGINARIUM」2022©junaida

❸旧岡田家住宅・酒蔵築350年記念 酒を醸す、酒をたしなむ

江戸時代、多くの酒蔵が軒をつらね、往来にはたくさんの人々がいきかいにぎわった伊丹の町。その中心に建てられた「旧岡田家住宅・酒蔵」は、今年で建立350年を迎えます。伊丹で作られる酒は良質で、毎年たくさんの酒が江戸へと送られ、江戸っ子の間で人気を博しました。伊丹ミュージアムの一角に悠然と建つ「旧岡田家住宅・酒蔵」は、江戸時代に栄えた伊丹の酒造りをいまに伝えます。さまざまな作品資料を通して、「旧岡田家住宅・酒蔵」と伊丹酒の魅力を感じてください。

高崎屋絵図（文京ふるさと歴史館蔵）

開催日時：令和6年4月12日(金)～6月2日(日)
午前10時～午後6時(入館は午後5時半まで)
休館日：月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)

会　　場：市立伊丹ミュージアム

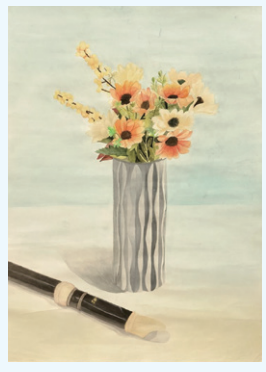
観　覧　料：❶一般200(150)円、　大高生 150(100)円、　中小生 100(50)円
❷一般1,000(900)円、　大高生 700(600)円、　中小生 400(300)円
❸無料
※( )内は20名以上の団体料金　※兵庫県内の小中学生はココロンカード呈示にて無料
※伊丹市在住の高齢者割引有(平日は60歳以上、土日祝は65歳以上)

問い合わせ：市立伊丹ミュージアム　072-772-5959　※月曜日休館(祝日の場合は開館、翌平日休館)

鈴原小学校50周年記念航空写真

第21回 伊丹子ども市展 入賞者決まる

絵画・書の2部門に計734点の応募があり、うち476点の入選作品は中央公民館で展示されました。



【絵画の部】
市長賞
松崎中2年　藤本　温楓

【書の部】
市長賞
園田学園中2年　櫻井　歩那

相談窓口の案内

※来所相談は予約制です。

●子どもと保護者の悩み相談…少年愛護センター
☎072-770-8742(電話相談)／☎072-780-3540(来所相談)
(電話相談) 平日：午前10時～午後5時半
(来所相談) 平日：午前10時～午後5時
学習、友人関係、いじめ、家族関係、不登校、問題行動…なんでも気軽に相談を。

●教育相談…総合教育センター
☎072-772-6171(電話相談)／☎072-780-2484(来所相談)
(電話相談)(来所相談)　※来所相談は予約制です。
月曜・火曜・木曜・金曜：午前9時～午後6時
水曜・土曜　：午前9時～午後5時
お子様に関する様々な悩みや課題、問題等の相談に応じています。

●子どもからの悩み相談…伊丹っ子SOS 相談室
☎072-780-4493(電話相談・来所相談)
(電話相談)(来所相談)
平日：午前9時～午後5時半
子どもだけ(18歳未満)が相談できるよ。自分ひとりで悩んでいないかな？一緒に考えましょう。